

平成20年度「みどりの日」自然環境功労者表彰
環境大臣表彰受賞者一覧

保全活動部門(19件)

	受賞者	功績概要
1	まも かい チョウセンアカシジミを守る会 かわにしまち 川西町 (山形県)	住民ぐるみで川西地区を中心とした置賜地方のチョウセンアカシジミ生息域の保全活動並びに保護活動の普及啓発活動に尽力。
2	ひのえまたそんりつひのえまたしょうがっこう 檜枝岐村立檜枝岐小学校 (福島県)	国立公園である、尾瀬のクリーン活動(清掃登山)を行うほか、「檜枝岐村子ども環境宣言」の作成など、環境保全の意識向上などにも尽力。
3	とくていひえいりかつどうほうじん 特定非営利活動法人 ぐんまけんしぜん ほご れんめい 群馬県自然保護連盟 (群馬県)	観察会の実施や自然環境保全地域を中心としたボランティアによる清掃登山、現地調査に基づく開発と自然保護との調和への提言を行うなど、群馬県の自然環境保全に尽力。
4	もとかわ さぶろう 本川 三郎 (群馬県)	群馬県森林保全推進委員として、永年にわたり自然保護活動の実践、後進の指導育成、自然観察会の実践指導、清掃登山などに尽力。
5	しりつさかえしょうがっこう さいたま市立栄小学校 (埼玉県)	絶滅危惧種である錦乃原サクラソウの保全のために栽培・旧自生地への植え替えなど、景観復活に尽力。学校設立以前に自生していたヘイケボタル復活のために飼育舎を作るほか、観賞会など啓発活動にも尽力。
6	しゃだんほうじんへいせいれいしゅうかい 社団法人 平成令終会 (新潟県)	自然と人間が調和する里山「雪国植物園」を開園。維持管理活動を行うとともに自然保護や環境教育の場としても利用するなど、里山の自然環境保全活動に尽力。
7	からき つとむ 唐木 勉 (長野県)	永年にわたり、南アルプス及び中央アルプスにおいてウスユキソウやコマクサ等の保護、監視パトロール、ゴミ持ち帰り運動の提唱などに尽力。
8	いりや かずしげ 入谷 一重 (静岡県)	南アルプス国立公園南部において、ニッコウキスゲやクルマユリなどの高山植物の保護、事故防止や山火事防止の指導などに尽力。
9	とみかわ じゅんじ 富川 惇志 (京都府)	丹後天橋立大江山国定公園において、公園指定以前から永年にわたりパトロールや植生保護、清掃活動等を実施するとともに観察会、ネイチャーガイド養成講座講師などに尽力。
10	まりい まさゆき 桐井 雅行 (奈良県)	永年にわたり、桜を中心に自然環境保全に取り組み、開花時期や開花状況を観察することにより、衰退を指摘し回復活動を行うほか、各種著書の執筆による自然保護の普及啓発に尽力。
11	よこたやま かい 横田山の会 (島根県)	永年にわたり、船通山(せんつうざん)山頂に自生するカタクリの保護活動として、違法採取防止パトロール、保護柵・注意看板の設置、草刈りのほか、観察会、小中学生対象のキャンプ指導などに尽力。
12	からつしりつひがしからつしょうがっこう 唐津市立東唐津小学校 (佐賀県)	日本三大松原の一つに数えられる、虹の松原において、クロマツの植栽や整地作業、保護育成事業などのほか地域の緑化推進に尽力。

13	とくていひえいりかつどうほうじん 特定非営利活動法人 おおいた かい 大分トンボの会 おおいたけん (大分県)	中津市周辺においてトンボの生息状況調査や保護増殖活動、観察会や学校での学習会などを行い、特にベッコウトンボについては、地域住民と協力し、繁殖地の清掃・草刈りなどを行い自然環境の保全に尽力。
14	やまむろ きょうこ 山室 京子 とうきょうと (東京都)	自然観察会をはじめ、環境相談、小学校の総合学習の講師などを行うとともに、万葉集に用いられた四季折々の植物を解説するなど、自然と歴史文化を関連づけた自然解説活動に尽力。
15	こすえ ひとし 是末 準 おおいたけん (大分県)	鳥獣保護員として鳥獣保護区の指定、特定鳥獣保護管理計画の改定に尽力するなど、地方及び国の野生生物保護に係る各種施策の策定・推進に貢献。
16	あかさか たけし 赤坂 毅 とちぎけん (栃木県)	永年にわたり、奥日光における公園利用者の指導、自然解説活動、清掃活動など自然保護思想の普及啓発と動植物の保護等において尽力。
17	かわぐち ゆうじ 川口 祐二 みえけん (三重県)	自然観察会の実施や著述・講演による自然保護思想の普及啓発活動、ハマボウの保護活動を始めとする自然環境に係る調査保護活動などに尽力。
18	ふつと 布土まちづくり推進委員会 あいちけん (愛知県)	里山の荒廃により拡大した竹林を管理し、炭焼き体験や、竹炭による河川浄化、里山に生息する動植物の保護増殖活動などに尽力。
19	きい はんとう 紀伊半島ウミガメ情報交換会 わかやまけん (和歌山県)	ウミガメが産卵する砂浜への車の乗り入れパトロール、卵の保護や清掃活動を行うとともに、紀伊半島沿岸各地におけるウミガメの産卵・孵化状況等の報告会を開催するなど保護活動に尽力。

いきもの環境づくり・みどり部門(6件)

	受賞者	功績概要
20	あさひかわしにしかがら 旭川市 西神楽ホタルの会 ほっかいどう (北海道)	ヘイケボタルの自然復元のために市の公園内に「ホタルの里」を造成し、研究と飼育の実践を行うとともに、ホタル祭りの開催等、普及啓発に尽力。
21	しりつにつしんしょうがっこう さいたま市立日進小学校 さいたまけん (埼玉県)	「生き物、自然との触れ合い」を重点とし、保護者の協力を得て、ビオトープ整備、生き物の生息状況学習、地域の緑化活動、清掃活動にも貢献。
22	みずばしょう かい イバラトミヨ・水芭蕉の会 にいがたけん (新潟県)	胎内市の水芭蕉群生地に隣接した水田において、「湧水の里自然観察公園」を整備し、子供たちの環境教育・環境学習の場として活用できるよう整備するなど保全及び普及啓発活動に尽力。
23	み ぼし かぶしきがいしゃ 三ツ星ベルト株式会社 ひょうごけん (兵庫県)	阪神淡路大震災で傷ついた子ども達の心を癒すことを目的に、自然と触れあえる場である学校ビオトープの設置に協力、社員ボランティアが出向いて、技術提供するなど、身近な自然の創出に尽力。
24	ゆあさ 湯浅グリーンボランティアの会 わかやまけん (和歌山県)	湯浅町山田山での植樹及び育苗作業による「森づくり」活動、「とんぼ池」の整備、希少植物の保護活動などを実施するとともに、観察会など自然ふれあい活動を実施し里山の保全・活用に尽力。
25	けいはん くらぶ 京阪ゴルフ倶楽部 おおさかふ (大阪府)	社会公共施設の緑化植樹や環境保全・普及啓発等の事業に協力し、大阪府内の河川敷等の環境整備・環境保全活動等へ貢献。

自然ふれあい部門(12件)

	受賞者	功績概要
26	ねぐち つとむ 根口 勉 (岩手県)	保育士や教員向けの自然学習テキストの発行、村内の園児や児童を対象とした自然観察教室や昆虫教室の開催など地域の環境学習、郷土の自然愛護意識の高揚に尽力。
27	うしくしりつかみやしやしょうがっこう 牛久市立神谷小学校 いばらきけん (茨城県)	学校ビオトープにつながる荒れた谷津田を「生き物の道」として借地・再生。この活動で得た「生き物の目」、「他者の目」の視点で「まちづくり」を提案などに尽力。
28	みずばしょう みどりしょうねんだん 緑の少年団 ぐんまけん (群馬県)	「自然を大切にする子」を目標に尾瀬の自然を観察し、自然保護運動の歴史と現在の保護活動を調べることで、人と自然の関わりを知り、自分たちでできる環境美化活動等に尽力。
29	しりつしばかわしょうがっこう さいたま市立芝川小学校 さいたまけん (埼玉県)	見沼地域で、ホタルの飼育・観察活動を始め、「ホタル観察園」を造成し、30年にわたり活動を継続。観賞会の開催や、高齢者福祉施設への出張展示など、地域住民との交流にも尽力。
30	あおたがわ あい かい 青田川を愛する会 にいがたけん (新潟県)	「青田川」において、永年にわたり、町内会、小学校とともに清掃活動や水質調査、植樹を行い自然環境の改善活動を行いつつ、写生大会、自然ガイドブックの出版など、市民が川とふれあう活動を行い、河川美化の啓発に尽力。
31	いしもと しょうじ 石本 昭司 ふくいけん (福井県)	永年にわたり、観察会の講師、指導者の育成、環境教育に関する複数のN G Oの創設、国等の各種調査への協力など県内での植物分野の主導的な役割を担うとともに、自然保護推進のための各種資料の作成にも尽力。
32	ふじ しぜんかんさつ かい 富士自然観察の会 しずおかけん (静岡県)	保育園から中学校まで幅広く、教育機関の行事に講師を派遣するなど、富士山麓での自然とのふれあいを通じ、市民の自然を守る心の育成と富士山周辺の自然環境保全に尽力。
33	かみやづ ゆめかいぎ 上宮津21夢会議 きょうとふ (京都府)	府民参加の多彩かつ活発な活動により、丹後天橋立大江山国立公園において、その指定以前から里山における環境保全、地域の美化、自然とのふれあいの場形成などに尽力。
34	とくていひえいりかつどうほうじん 特定非営利活動法人 せかい こ あいじゆさい 世界子ども愛樹祭コンクール・ コスモネット ふくおかけん (福岡県)	世界中の子ども達から「愛樹のこころ」作品を募集し、コンクール入賞者による植樹・育樹による友情の森づくりを実践するなど、樹木を愛するという文化を広めることに尽力。
35	おかの よしはる 岡野 吉春 さいたまけん (埼玉県)	地域の歴史・文化や自然の理解、人とのふれあいを進めるウォーキング活動を永年にわたりリードし、全国への普及・定着、ウォーキング大会での自然保護憲章の普及啓発など、自然とのふれあいの推進に尽力。
36	つかもと けいいち 塚本 圭一 きょうとふ (京都府)	永年の観察会講師、自然現況調査、ガイドブック作成などの活動により、京都御苑利用者の自然への理解を深め、自然保護思想の普及などに尽力。
37	とくていひえいりかつどうほうじん 特定非営利活動法人 ふじの森 とうきょうと (東京都)	地元自治体と協力し、間伐、炭焼き体験等の森づくりを永年にわたり行うとともに、各種観察会や子ども達を対象とした自然体験、文化交流体験、ゴミ拾い体験など里山再生や都市と山村の交流に尽力。

調査・学術研究部門(4件)

	受賞者	功績概要
38	とくもと ひろし 徳本 洋 いしかわけん (石川県)	石川むしの会の創設や、県内の昆虫類等の調査を進め、県指定希少野生動植物種の指定や県の自然環境シリーズの昆虫類・クモ類の執筆・編集などに尽力。
39	ふるいけ ひろし 古池 博 いしかわけん (石川県)	絶滅危惧種を含む植物調査を精力的に行い、国の自然環境保全基礎調査に協力するほか、県の自然環境シリーズで植生の執筆など、県内の植生に係る調査・研究に尽力。
40	みなとひろし 湊 宏 わかやまけん (和歌山県)	陸産貝類の専門家として永年にわたり調査研究を続け、後進の育成にも力を注ぎ、多数の論文・著書を執筆するほか、自然環境保全基礎調査発展に大きく貢献。
41	おおたいし のりゆき 大泰司 紀之 ほっかいどう (北海道)	哺乳類の専門家として、永年にわたり調査研究を続ける一方、多数の論文・著書を執筆するほか、自然環境保全基礎調査の発展に大きく貢献。

国際貢献部門(0)

	受賞者	功績概要